掲載当時の通知等を基に作成されています。その後に出された通知等で
解釈が変わる場合がありますので、予めご了承ください。

●忘れてないかあの診療

症例研究

●落としてないかその点数

今年1月に保険収載された「ジーシー ファイバーポスト」の算定について

今年1月にジーシー ファイバーポストが保険収載され、取り扱いが示されました。今回は、4月改定までの取扱いを解説します。

なお、4月改定以降の取扱いについては、3月の新点数説明会で解説を行う予定です。ぜひご参加ください。（参加方法は9面または協会ホームページをご覧ください）

事例1：直接法で製作した場合

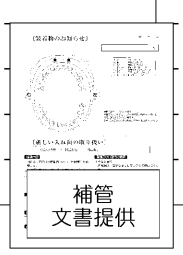
患　者：49歳・男性
主　訴（初診時）：左下の前歯が痛む。
所　見（初診時）：⌊2⌋打診痛あり。
傷病名：⌊2⌋Per

月日	部　位	療法・処置	点数
2月3日		再診	45
		前回⌊2⌋の根充後に、痛みや違和感はないとのこと。	／
		⌊2⌋打診痛なし。	／
	⌊2⌋	レジン支台築造（ｼﾞｰｼｰ ﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾟｽﾄ・1本）**注①②③④**	230
		TeC	／
2月10日		再診	45
		⌊2⌋に痛みや違和感はないとのこと。	／
	⌊2⌋	失PZ（前装MC）**注⑤**	636
		連ｉｍｐ（寒天＋アルジネート）	62
		BT（バイトワックス）	16
		TeC	34
2月17日		再診	45
		⌊2⌋に特に違和感はないとのこと。	／
	⌊2⌋	前装MC（金パラ）	1,575
		装着料＋装着材料料（スーパーボンド）	45+17
		補管	100

事例2：間接法で製作した場合

患　者：49歳・男性
主　訴（初診時）：左上の奥歯が痛む。
所　見（初診時）：⌊4⌋打診痛あり。
傷病名：⌊4⌋Per

月日	部　位	療法・処置	点数
2月3日		再診	45
		前回⌊4⌋の根充後に、痛みや違和感はないとのこと。	／
		⌊4⌋打診痛なし。	／
	⌊4⌋	ｉｍｐ（寒天+アルジネート）**注⑥**	26
		TeC	／
2月10日		再診	45
		⌊4⌋に違和感はないとのこと。	／
	⌊4⌋	レジン支台築造（ｼﾞｰｼｰ ﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾟｽﾄ・2本）**注②**	319
		装着材料（スーパーボンド）	／
		TeC	／
2月17日		再診	45
		⌊4⌋に特に違和感や痛みはないとのこと。	／
	⌊4⌋	失PZ（CAD／CAM冠）	636
		連ｉｍｐ（寒天＋アルジネート）	62
		BT（バイトワックス）	16
		TeC	／
2月24日		再診	45
		⌊4⌋に特に違和感はないとのこと。	／
	⌊4⌋	CAD／CAM冠	1,684
		装着料＋装着材料料（スーパーボンド）	90+17
		補管	100



《解　説》

注①　2016年1月時点では保険請求ができるファイバーポストは、「ジーシー ファイバーポスト」のみである。「ジーシー ファイバーポストN」など、その他のファイバーポストは2016年1月時点では保険請求できない。

なお、2月以降に、「ジーシーファイバーポスト」以外のファイバーポストが保険導入される可能性がある。2月より使用できる製品については、協会HPをご覧いただくか、各メーカーにお問い合わせいただきたい。

注②　ジーシー ファイバーポストを用いた支台築造の点数は下記の通り。製作方法は直接法と間接法があり、点数はどちらも同じである。

なお、ジーシーファイバーポストは1根管あたり1本を限度として算定し、小臼歯及び大臼歯に使用する場合は1歯あたり2本を限度として算定できる。

また、本症例ではクラウンを装着する歯に使用しているが、ブリッジの支台歯にも使用できる。

○表：ジーシー ファイバーポストを用いた支台築造の点数

	ジーシー ファイバーポストを1本使用	ジーシー ファイバーポストを2本使用
前歯	230点 （技術料126点+材料料104点）	
小臼歯	230点 （技術料126点+材料料104点）	319点 （技術料126点+材料料193点）
大臼歯	242点 （技術料126点+材料料116点）	331点 （技術料126点+材料料205点）

＊直接法・間接法どちらも点数は同じです。

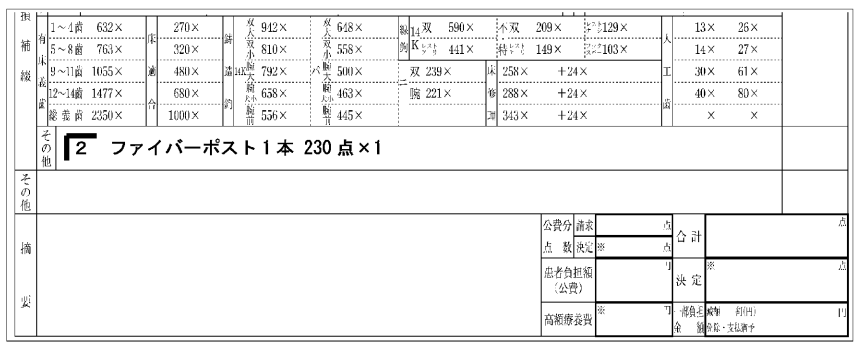
注③　ジーシー ファイバーポストの添付文書には、残存歯質の全周に渡る歯冠部高径が1mm未満の症例には使用しないなど、下記の禁忌・禁止事項があり、それを踏まえた取り扱いを行う。

○ジーシー ファイバーポストの禁忌・禁止（添付文書より）

・メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
・下記の症例・患者には適用しないこと
①本品が直線的に装着できない症例 ②残存歯質の全周に渡る歯冠部高径が1mm未満の症例
・再使用禁止

注④　保険請求する際は、レセプトの歯冠修復及び欠損補綴の「その他」欄に、「ファイバーポスト」と表示し、部位ごとにそれぞれ、部位、使用本数、合計点数及び回数を算定する。なお、部位は「ファイバーポスト」の表示前に記載する。

○レセプト記載の例（事例1の場合）



注⑤　ジーシー ファイバーポストを用いた支台築造を装着した歯に対して、失PZを行った場合は所定点数を算定する。メタルコア加算は算定できない。

注⑥　間接法によるジーシー ファイバーポストを用いた支台築造の印象を行った場合は、メタルコアの印象を準用し、26点を算定できる。

注⑦　本症例にはないが、保険請求されたジーシー ファイバーポストを用いた支台築造を除去した場合は、根管内にポストを有する鋳造体の除去を準用し、54点が算定できる。

また、間接法で製作されたものが未来院のため装着できなかった場合は、未来院請求ができる。点数は注②と同じである。

（4月改定後の取り扱いについて）

4月改定以降の取り扱いは、改定時の告示・通知で示される予定です。4月改定以降の点数の算定については、3月の新点数説明会で解説を行う予定です。開催日や参加方法については、9面の「研究会・行事のご案内」または協会ホームページをご覧ください。

＊実態に即してご請求下さい＊